

工藤篤子メールマガジン43号  
2004.02.05

●「ナチスの犠牲者」展

皆様お元気でいらっしゃいますか？

私はスペインでのコンサートを控えて、なんと風邪をひいてしまいました。

久しぶりのフランス歌曲のみの、しかも大学のフランス語学科の教授や学生が多く参加するコンサートということもあって、かなりの緊張を感じながら準備をしていたところでした。けれども、この風邪でまる一週間全く歌えなくなったおかげで、

私はこのコンサートを何のためにするのか、と心の内に問いかけられたのです。最初は、このコンサートでスペインに行く機会が与えられ、あちらで出会う人々に主を証ししたい、と祈っていたのですが、肝心のコンサート自体に関しては、スペインへ行くひとつの動機くらいにしか思っていなかったのです。しかも久しぶりのフランス歌曲のみのコンサートで、大阪弁で言うなら「えらいこっちゃ！」と思いながら・・・

けれども、聖書は、「あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。」(コロサイ 3:17) と言っています。また、「いっさいのことを愛をもって行いなさい。」(第一コリント 16:14) とも書いてあります。問いかけの結論は、それまでの私は、今回のコンサートの準備を主の御名によってしていたのではなく、愛をもってしていたのでもなかった、ということでした。深い悔い改めに導かれ、明日からは、声は出なくとも、愛をもって譜面読みの準備をしようと思ったその翌朝、敬愛する姉妹から手紙が届きました。「今、スペインを前にされ、フランス歌曲の練習に励んでおられる毎日でしょうか。すべてイエス様の栄光のために！愛ゆえに！愛をもって！愛のために！」



●「ナチスの犠牲者」展

今、ハンブルク市役所は、今、「ナチスの犠牲者」の展示会、後援会、映写会、コンサート等を催しています。

近日中に発行される AKMM ニュースレターにも書かせていただきましたが、当時のドイツ領には、合わせて1000近くの収容所がありました。ハンブルクだけで、何と16もの収容所があったのです。その中でも最も大きな収容所はノイエンガメ収容所ですが、ここでの収容者数は、合わせて約106000人。内訳は、旧ソ連人が一番多く、28450人、次がポーランド人13000人、ユダヤ人13000人、それからフランス人11000人、ドイツ人8800人、オランダ人6650人、ノルウェー人2200人、その他、ユーゴスラヴィア人、イタリア人、スペイン人チェコ人、ジプシーなどです。異人種、政治的理由、宗教的理由によって収容されたこの人々の半数以上はここから生還することができませんでした。

ナチスのホロコーストは、ユダヤ人虐殺のためのものと思っていられる方が多いと思います。実は、ナチスの最初の絶滅対象は、1933年に制定された「ナチ断種法」（遺伝病の子孫を予防するための法律）

により、知的障害、分裂病、躁鬱病、てんかん、アルコール依存症、先天性の盲人およびローア者、小人症、筋ジストロフィー、フリードライヒ症、先天性股関節脱臼などの人々だったのです。1940年には、「T4作戦」と呼ばれる安楽死計画が展開され、ドイツ国内の大きな精神病院に、ガス室と焼却炉が敷設されるようになりました。アウシュヴィッツのホロコースト（大量虐殺）は、実は対象を障害者からユダヤ人へと転換し、その方法を拡大したものでした。

今回、ハンブルクで開催中の「ナチスの犠牲者」の大きなテーマは、「女性」と「中国人」です。（中国人のことは次回にお伝えいたします。）今回、女性のテーマが取り上げられたのは、収容所から生還した女性たちが、やっと口を開くようになってきたからです。彼女たちは、あの時の過酷な労働、寒さに耐えられない薄い作業着、わずかな食事、不潔な環境、SS（ナチス親衛隊）による性的虐待などの恐ろしい記憶を消し去りたいと願い、それを二度と口にすまいと誓い、今日に至るまで、悪夢にうなされながら生きてきたのです。その彼女たちの何人かが、戦後60年近く経った今、やっと語り始めました。

ハンブルク市長は、そのひとつの講演会の挨拶で、「私たちはこの新しく提示される『ナチスの犠牲者の記憶』を公けにしながら、常に過去を反省し、目を見張りながら21世紀の民主主義を守り進めてゆかなければならない。」と語りました。そのとき、この講演を聞くために駆けつけた人々で埋め尽くされたハンブルク市庁舎の大ホールには、しばらくの間、会場からあふれんばかりの拍手が鳴り響きました。私は思わず、このように語った市長さんと、ハンブルク市民の祝福のために祈りました。

「すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。」（第一テモテ 2:1）

---

## ●お祈りください

2月4日～13日のスペイン滞在が主によって祝され、特に9日のリサイタルを通して、主の栄光が現されますように

---

今回は、スペインから戻りましたらまた報告させていただきますね。

どうぞ皆様も風邪などひかれませんように、日々主の守りと祝福がありますようにとお祈りしております。シャローム！

工藤篤子

---

■工藤篤子メールマガジンの受信、あるいは廃信を希望される方は、どうぞ以下のメールアドレスまでご一報ください。また、アドレスを変更される場合もご連絡ください。

[kudomm@zag.att.ne.jp](mailto:kudomm@zag.att.ne.jp)

■また、AKMM支援者の兄弟のご奉仕により、もうじき工藤篤子音楽ミニストリーズの日本語のホームページが開設される予定です。どうぞ主に用いられるホームページが出来上がりますようお祈りください。ま

た英語のホームページは、簡単なものですが、昨年の 11 月からすでに開設しています。

<http://www.fgec.de/atsuko/>